

令和5年度第3回農福連携推進研修会開催要領

1 開催趣旨

岐阜県では、平成30年に(一社)岐阜県農畜産公社内のぎふアグリチャレンジ支援センターに「農福連携」のワンストップ窓口である農福連携推進室を開設し、農業サイドと福祉サイドによる農作業の受委託、農業経営体が行う障がい者の受け入れ体験に対する助成などにより農業と福祉の連携を進めてきました。その結果、農作業の受委託を継続して行う事例が多くなってきています。

しかしながら、障がい者は農業の仕事に向いていないのではないかと、賃金や工賃に見合う仕事ができるのだろうかなど、農と福がお互いを正しく理解しないことによって農業者は事業拡大の機会を逃したり、障がい福祉サービス事業所では利用者の働く力を伸ばす機会を失うケースがあります。

そこで、今回の研修では、農福連携が農業サイドでは経営規模の拡大に、福祉サイドでは工賃向上への取り組みでもあることを理解していただくために、農福連携の先進県である静岡県で活躍されている農業経営者と農水省認定農業技術支援者をお招きし、質疑を交えながら研修します。

2 主催 一般社団法人岐阜県農畜産公社(ぎふアグリチャレンジ支援センター)

3 日時 令和6年2月6日(火) 午後1時30分～午後3時40分

4 会場 一般社団法人岐阜県農協会館 大会議室 ☎058-276-5411
(〒500-8367 岐阜県岐阜市宇佐南4丁目13番1号)

5 研修内容

- (1) 講演：「0からスタート！ 農福連携」 (13:30-14:00)
講師：ひらまつファーム 事業主 平松 輝彦氏

PROFILE

※静岡県浜松市浜名区(旧浜北区)で農業を实践

・農業経営の概要

露地(畑)

夏：トウモロコシ(1.5ha) その他(0.5ha・ナスなど)

冬：リーフレタス(1.5ha)、その他(0.5ha・ハクサイなど)

施設

9月から翌年7月：ミニトマト 20a

(2) 講演：「農業と福祉のWIN WINな関係を目指す農福連携のマッチング
～農福連携などコーディネーターの活用事例と効果～」

(14:00-14:40)

講師：静岡県農福連携コーディネーター 鳥居 嗣代氏

PROFILE

※中小企業支援事業の現場で働いた経験を活かし、農家のみなさんの人手不足や高齢化などの課題を、福祉の力と繋げ、豊かでやりがいのある農の暮らしの実現に向けた支援を行っている。

- ・静岡県農福連携コーディネーター
- ・農福連携技術支援者(農林水産省認定) など

(3) (1) と (2) の講師に質疑応答 (14:40～15:00)

(4) 行政説明「障害福祉サービス事業の運営と実務」 (15:10～15:40)

講師：岐阜県障害福祉課課長補佐 若原 豊氏

6 対象 農業者、農業関係者、障がい福祉サービス事業所等福祉関係者、JA役職員、岐阜県農業ジョブコーチ、特別支援学校の教職員、行政関係者等

7 募集定員 60名

8 申込方法 別紙申込書に必要事項を記入の上、令和6年1月30日(火)までに(一社)岐阜県農畜産公社農福連携推進室へ

E-mail gifu-noufuku0@gifu-notiku.com 又は

FAX 058-276-1268

でお申し込みください。

9 その他

定員を設けております。定員を超える参加希望があった場合は、抽選のうえ参加をお断りする場合がございます。

(一社)岐阜県農畜産公社農福連推進室 (ぎふアグリチャレンジ支援センター)				
担当者	担当室長	加 留	担当	谷 口
TEL	058-215-1503			
FAX	058-276-1268			
E-mail	gifu-noufuku0@gifu-notiku.com			

※会場までの交通・アクセス

【お車でお越しの方】

東海北陸自動車道各務原 IC を降りて、大垣方面(県庁方面)へ約 15 分。

【岐阜バスでお越しの方】

- ① JR 岐阜駅から大洞団地線 OKB ふれあい会館行きに乗車して約 20 分、「JA 会館前」で下車、徒歩約 1 分。
- ② JR 岐阜駅から加納島線の OKB ふれあい会館行きに乗車して約 20 分、「OKB ぎふ清流アリーナ」にて下車、徒歩約 6 分。